

## 「一般廃棄物減量資源化計画書」の記入上の注意

### 1 延面積

事務所の総延床面積（工場や店舗が併設の場合はそれらを含めた全体の面積）

### 2 一般廃棄物処理業者

廃棄物を引き渡している許可業者名を記入してください。

### 3 資源化の状況

品目ごとに、引き渡している再生資源回収業者名を記入してください。

※許可業者に運搬を委託している場合は、許可業者名ではなく運搬先の再生資源業者名を記入してください

### 4 前年度の実績

前年度の4月1日から3月31日までの廃棄物の発生量を集計して、廃棄しているものと資源化しているものに分けて記入してください。

※発生量が分からない場合は収集運搬業者等に確認してください。

### 5 本年度の計画

令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）の排出目標値を記入してください。前年度に廃棄物として処理したもののうちで再資源化できるものがないか（特にOA紙、広告、チラシ等）を再度検討してください。

※住居併設施設の場合は、事業活動に伴い発生したもののみを対象にしてください。

※複数品目のごみが混在している場合であってもできる限り品目ごとの内訳を記載してください。

※「その他の可燃物」は資源化できない木くずや紙くず等の燃やせるごみです。

※「その他の不燃物」は陶磁器類等です。

### 6 ごみ重量の目安

一般家庭や飲料店などで広く利用されている『ごみ用の丸型ポリバケツ』（直径60cm、約60ℓ、青色）に一杯分入れた場合のごみ重量の目安です。

主なごみの種類	重量 (kg)	主なごみの種類	重量 (kg)
コピー紙、OA用紙	10～25	プラスチック類	2～5
雑紙（紙くず）	3～5	スチール缶	5～10
繊維くず	10～20	アルミ缶	2～3
残飯・生ごみ	20～35	びん類	20～30

※新聞（折込み広告を含む）は1紙で1ヶ月当たり約12kgです。

※雑誌類は1冊当たり約150g～約800gで、厚さとグラビアページの量で重さが変わります。

※コピー用紙は1,000枚当たり、B4サイズ約6kg、A4サイズ約4kg、B5サイズ約3kgです。

※ダンボールは潰して80cm×80cm×1cmの大きさを約1kgです。

※びんは1本当たり、1升びんが約1kg、ビールびん（大びん）が約600gです。

※アルミ缶は1個当たり約25gで、厚めのスチール缶は約50gです。